

J A 鹿本には園芸・果樹・普通作など様々な部会があり、「夢大地」ブランド確立に向け品質・生産技術向上に努めています。部会では試行錯誤して毎年様々な取り組みを実践しています。

こだわり抜いた生産体制の確立

J A 鹿本花卉部会ホオズキグループは現在7戸。7月と8月のお盆に併せて栽培に取り組んでいます。ホオズキグループの栽培するホオズキは皇室献上の品に選ばれたことがあるほか、昨年は熊本県農業コンクールで地域能力部門特別賞を受賞するなど、県内有数の高品質栽培産地となっています。

グループ全体で取り組む徹底した栽培

苗の増やし方



横植え 生え方にバラツキがあり 養分がかたよる



縦植え 生え方は均等で 栄養がいきわたる



2月頃に定植を行う地下茎は、前年度に栽培したホオズキで出来の良い厳選した種子から育てたものをグループ全員が使用します。ホオズキグループ全体で高品質なホオズキを生産できるよう工夫しています。また、植え方を今までは横植えだったのを縦植えに変更し、等間隔栽培を実現でき、栄養の行き届いたホオズキ栽培を行えるようになりました。

4月中旬に蜂を入れることで効率よく受粉させ、害虫(スリップス)の天敵(チリカブリダニ)を放飼し減農薬にも取り組んでいます。



PR活動の実施

ホオズキをもっと多くの方に知ってもらいたいと、3年前から地元温泉観光協会や市役所等に寄贈を行っています。

出荷にもこだわり

普段通り横箱で出荷し、市場へ到着する頃にはすぐ水あげをする必要があります。一部の市場注文分は水を入れたバケツで出荷する縦箱に変更し、市場まで生き生きとしたホオズキを届けることができ、消費者のものとへより良い状態で届けることができますようになりました。

現在はグループ員の努力により、上位等級品「秀」3Lの割合が高くなり、所得増大に繋がっています。

